

報告品目・新キット製品が薬価収載されましたのでお知らせいたします。

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	備考
1	218	内用薬	パルモディアXR錠 0.2mg	0.2mg1錠	61.30	興和	ヘマフィブラート	高脂血症（家族性を含む）	通常、成人にはヘマフィブラートとして1回0.2mgを1日1回経口投与する。ただし、トリグリセライド高値の程度により、1回0.4mgを1日1回まで増量できる。	
			パルモディアXR錠 0.4mg	0.4mg1錠	113.40					
2	399	内用薬	オルケディア錠4mg	4mg1錠	585.20	協和キリン	エボカルセット	○維持透析下の二次性副甲状腺機能亢進症 ○下記疾患における高カルシウム血症 ・副甲状腺癌 ・副甲状腺摘出術不能又は術後再発の原発性副甲状腺機能亢進症	〈維持透析下の二次性副甲状腺機能亢進症〉 通常、成人には、エボカルセットとして1回1mgを開始用量とし、1日1回経口投与する。患者の状態に応じて開始用量として1日1回2mgを経口投与することができる。以後は、患者の副甲状腺ホルモン（PTH）及び血清カルシウム濃度の十分な観察のもと、1日1回1～8mgの間で適宜用量を調整し、経口投与するが、効果不十分な場合には適宜用量を調整し、1日1回12mgまで経口投与することができる。  〈副甲状腺癌における高カルシウム血症、副甲状腺摘出術不能又は術後再発の原発性副甲状腺機能亢進症における高カルシウム血症〉 通常、成人には、エボカルセットとして1回2mgを開始用量とし、1日1回経口投与する。患者の血清カルシウム濃度に応じて開始用量として1回2mgを1日2回経口投与することができる。以後は、患者の血清カルシウム濃度により投与量及び投与回数を適宜増減するが、投与量は1回6mgまで、投与回数は1日4回までとする。	剤形追加に係る医薬品（再審査期間中のもの）
3	229	注射薬	テゼスバ(イア皮下注)210mgペン	210mg1.91mL1キット	178,182	アストラゼネカ	テゼヘルマブ（遺伝子組換え）	気管支喘息（既存治療によっても喘息症状をコントロールできない重症又は難治の患者に限る）	通常、成人及び12歳以上の小児にはテゼヘルマブ（遺伝子組換え）として1回210mgを4週間隔で皮下に注射する。	剤形追加に係る医薬品（再審査期間中のもの）
4	241	注射薬	ソグルーヤ皮下注15mg	15mg1.5mL1キット	76,753	ソボノルディスクファーマ	ソマブシタン（遺伝子組換え）	骨端線閉鎖を伴わない成長ホルモン分泌不全性低身長症	通常、ソマブシタン（遺伝子組換え）として0.16mg/kgを、週1回、皮下注射する。	剤形追加に係る医薬品（再審査期間中のもの）
5	339	注射薬	ベグフィルグラスチムBS皮下注3.6mg「ニプロ」	3.6mg0.36mL1筒	61,188	持田製薬販売	ベグフィルグラスチム（遺伝子組換え） 【ベグフィルグラスチム後続1】	がん化学療法による発熱性好中球減少症の発症抑制	通常、成人にはがん化学療法剤投与終了後の翌日以降、ベグフィルグラスチム（遺伝子組換え）【ベグフィルグラスチム後続1】として、3.6mgを化学療法1サイクルあたり1回皮下投与する。	ハイオ後続品
6	339	注射薬	ベグフィルグラスチムBS皮下注3.6mg「モチダ」	3.6mg0.36mL1筒	61,188	持田製薬	ベグフィルグラスチム（遺伝子組換え） 【ベグフィルグラスチム後続1】	がん化学療法による発熱性好中球減少症の発症抑制	通常、成人にはがん化学療法剤投与終了後の翌日以降、ベグフィルグラスチム（遺伝子組換え）【ベグフィルグラスチム後続1】として、3.6mgを化学療法1サイクルあたり1回皮下投与する。	ハイオ後続品

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	備考
7	399	注射薬	アダリムマブBS皮下注20mgシリンジ0.2mL【CTNK】	20mg0.2mL1筒	15,226	日本化薬	アダリムマブ（遺伝子組換え）【アダリムマブ後続4】	既存治療で効果不十分な下記疾患 ○多関節に活動性を有する若年性特発性関節炎	通常、アダリムマブ（遺伝子組換え）【アダリムマブ後続4】として、体重15kg以上30kg未満の場合は20mgを、体重30kg以上の場合は40mgを2週に1回、皮下注射する。	バイオ後続品
			アダリムマブBS皮下注40mgシリンジ0.4mL【CTNK】	40mg0.4mL1筒	27,822		既存治療で効果不十分な下記疾患 ○多関節に活動性を有する若年性特発性関節炎  ○関節リウマチ（関節の構造的損傷の増進を含む）  既存治療で効果不十分な下記疾患 ○尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬 ○強直性脊椎炎 ○腸管型ベーチェット病 ○非感染性の中間部、後部又は汎ぶどう膜炎  ○中等症又は重症の活動期にあるクローン病の寛解導入及び維持療法（既存治療で効果不十分な場合に限り）  ○中等症又は重症の潰瘍性大腸炎の治療（既存治療で効果不十分な場合に限り）	<多関節に活動性を有する若年性特発性関節炎> 通常、アダリムマブ（遺伝子組換え）【アダリムマブ後続4】として、体重15kg以上30kg未満の場合は20mgを、体重30kg以上の場合は40mgを2週に1回、皮下注射する。  <関節リウマチ> 通常、成人にはアダリムマブ（遺伝子組換え）【アダリムマブ後続4】として40mgを2週に1回、皮下注射する。なお、効果不十分な場合、1回80mgまで増量できる。  <尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬> 通常、アダリムマブ（遺伝子組換え）【アダリムマブ後続4】として初回に80mgを皮下注射し、以後2週間に1回、40mgを皮下注射する。なお、効果不十分な場合には1回80mgまで増量できる。  <強直性脊椎炎> 通常、成人にはアダリムマブ（遺伝子組換え）【アダリムマブ後続4】として40mgを2週に1回、皮下注射する。なお、効果不十分な場合、1回80mgまで増量できる。  <腸管型ベーチェット病> 通常、成人にはアダリムマブ（遺伝子組換え）【アダリムマブ後続4】として初回に160mgを、初回投与2週間後に80mgを皮下注射する。初回投与4週間後以降は、40mgを2週に1回、皮下注射する。  <非感染性の中間部、後部又は汎ぶどう膜炎> 通常、成人にはアダリムマブ（遺伝子組換え）【アダリムマブ後続4】として初回に80mgを、初回投与1週間後に40mgを皮下注射する。初回投与3週間後以降は、40mgを2週に1回、皮下注射する。  <クローン病> 通常、成人にはアダリムマブ（遺伝子組換え）【アダリムマブ後続4】として初回に160mgを、初回投与2週間後に80mgを皮下注射する。なお、効果が減弱した場合には1回80mgを増量できる。  <潰瘍性大腸炎> 通常、アダリムマブ（遺伝子組換え）【アダリムマブ後続4】として初回に160mgを、初回投与2週間後に80mgを皮下注射する。初回投与4週間後以降は、40mgを2週に1回、皮下注射する。なお、初回投与4週間後以降は、患者の状態に応じて40mgを毎週1回又は80mgを2週に1回、皮下注射することもできる。		
			アダリムマブBS皮下注80mgシリンジ0.8mL【CTNK】	80mg0.8mL1筒	55,109		○関節リウマチ（関節の構造的損傷の増進を含む）  既存治療で効果不十分な下記疾患 ○尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬 ○強直性脊椎炎 ○腸管型ベーチェット病 ○非感染性の中間部、後部又は汎ぶどう膜炎  ○中等症又は重症の活動期にあるクローン病の寛解導入及び維持療法（既存治療で効果不十分な場合に限り）  ○中等症又は重症の潰瘍性大腸炎の治療（既存治療で効果不十分な場合に限り）	<関節リウマチ> 通常、成人にはアダリムマブ（遺伝子組換え）【アダリムマブ後続4】として40mgを2週に1回、皮下注射する。なお、効果不十分な場合、1回80mgまで増量できる。  <尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬> 通常、アダリムマブ（遺伝子組換え）【アダリムマブ後続4】として初回に80mgを皮下注射し、以後2週間に1回、40mgを皮下注射する。なお、効果不十分な場合には1回80mgまで増量できる。  <強直性脊椎炎> 通常、成人にはアダリムマブ（遺伝子組換え）【アダリムマブ後続4】として40mgを2週に1回、皮下注射する。なお、効果不十分な場合、1回80mgまで増量できる。  <腸管型ベーチェット病> 通常、成人にはアダリムマブ（遺伝子組換え）【アダリムマブ後続4】として初回に160mgを、初回投与2週間後に80mgを皮下注射する。初回投与4週間後以降は、40mgを2週に1回、皮下注射する。  <非感染性の中間部、後部又は汎ぶどう膜炎> 通常、成人にはアダリムマブ（遺伝子組換え）【アダリムマブ後続4】として初回に80mgを、初回投与1週間後に40mgを皮下注射する。初回投与3週間後以降は、40mgを2週に1回、皮下注射する。  <クローン病> 通常、成人にはアダリムマブ（遺伝子組換え）【アダリムマブ後続4】として初回に160mgを、初回投与2週間後に80mgを皮下注射する。なお、効果が減弱した場合には1回80mgを増量できる。  <潰瘍性大腸炎> 通常、アダリムマブ（遺伝子組換え）【アダリムマブ後続4】として初回に160mgを、初回投与2週間後に80mgを皮下注射する。初回投与4週間後以降は、40mgを2週に1回、皮下注射する。なお、初回投与4週間後以降は、患者の状態に応じて40mgを毎週1回又は80mgを2週に1回、皮下注射することもできる。		

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	備考
7 (続き)	399	注射薬	アダリムマブBS皮下注40mgベン0.4mL「CTNK」	40mg0.4mL1キット	27,822			<p>既存治療で効果不十分な下記疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○多関節に活動性を有する若年性特発性関節炎</li> <li>○関節リウマチ（関節の構造的損傷の増進を含む）</li> </ul> <p>既存治療で効果不十分な下記疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬</li> <li>○強直性脊椎炎</li> <li>○腸管型ベーチェット病</li> <li>○非感染性の中間部、後部又は汎ぶどう膜炎</li> <li>○中等症又は重症の活動期にあるクローン病の寛解導入及び維持療法（既存治療で効果不十分な場合に限る）</li> <li>○中等症又は重症の潰瘍性大腸炎の治療（既存治療で効果不十分な場合に限る）</li> </ul>	<p>&lt;多関節に活動性を有する若年性特発性関節炎&gt;</p> <p>通常、アダリムマブ（遺伝子組換え）【アダリムマブ後続4】として、体重15kg以上30kg未満の場合は20mgを、体重30kg以上の場合は40mgを2週に1回、皮下注射する。</p> <p>&lt;関節リウマチ&gt;</p> <p>通常、成人にはアダリムマブ（遺伝子組換え）【アダリムマブ後続4】として40mgを2週に1回、皮下注射する。なお、効果不十分な場合、1回80mgまで増量できる。</p> <p>&lt;尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬&gt;</p> <p>通常、アダリムマブ（遺伝子組換え）【アダリムマブ後続4】として初回に80mgを皮下注射し、以後2週間に1回、40mgを皮下注射する。なお、効果不十分な場合には1回80mgまで増量できる。</p> <p>&lt;強直性脊椎炎&gt;</p> <p>通常、成人にはアダリムマブ（遺伝子組換え）【アダリムマブ後続4】として40mgを2週に1回、皮下注射する。なお、効果不十分な場合、1回80mgまで増量できる。</p> <p>&lt;腸管型ベーチェット病&gt;</p> <p>通常、成人にはアダリムマブ（遺伝子組換え）【アダリムマブ後続4】として初回に160mgを、初回投与2週間後に80mgを皮下注射する。初回投与4週間後以降は、40mgを2週に1回、皮下注射する。</p> <p>&lt;非感染性の中間部、後部又は汎ぶどう膜炎&gt;</p> <p>通常、成人にはアダリムマブ（遺伝子組換え）【アダリムマブ後続4】として初回に80mgを、初回投与1週間後に40mgを皮下注射する。初回投与3週間後以降は、40mgを2週に1回、皮下注射する。</p> <p>&lt;クローン病&gt;</p> <p>通常、成人にはアダリムマブ（遺伝子組換え）【アダリムマブ後続4】として初回に160mgを、初回投与2週間後に80mgを皮下注射する。なお、効果が減弱した場合には1回80mgに増量できる。</p> <p>&lt;潰瘍性大腸炎&gt;</p> <p>通常、アダリムマブ（遺伝子組換え）【アダリムマブ後続4】として初回に160mgを、初回投与2週間後に80mgを皮下注射する。初回投与4週間後以降は、40mgを2週に1回、皮下注射する。なお、初回投与4週間後以降は、患者の状態に応じて40mgを毎週1回又は80mgを2週に1回、皮下注射することもできる。</p>	ハイオ後続品
			アダリムマブBS皮下注80mgベン0.8mL「CTNK」	80mg0.8mL1キット	55,109			<ul style="list-style-type: none"> <li>○関節リウマチ（関節の構造的損傷の増進を含む）</li> </ul> <p>既存治療で効果不十分な下記疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬</li> <li>○強直性脊椎炎</li> <li>○腸管型ベーチェット病</li> <li>○非感染性の中間部、後部又は汎ぶどう膜炎</li> <li>○中等症又は重症の活動期にあるクローン病の寛解導入及び維持療法（既存治療で効果不十分な場合に限る）</li> <li>○中等症又は重症の潰瘍性大腸炎の治療（既存治療で効果不十分な場合に限る）</li> </ul>	<p>&lt;関節リウマチ&gt;</p> <p>通常、成人にはアダリムマブ（遺伝子組換え）【アダリムマブ後続4】として40mgを2週に1回、皮下注射する。なお、効果不十分な場合、1回80mgまで増量できる。</p> <p>&lt;尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬&gt;</p> <p>通常、アダリムマブ（遺伝子組換え）【アダリムマブ後続4】として初回に80mgを皮下注射し、以後2週間に1回、40mgを皮下注射する。なお、効果不十分な場合には1回80mgまで増量できる。</p> <p>&lt;強直性脊椎炎&gt;</p> <p>通常、成人にはアダリムマブ（遺伝子組換え）【アダリムマブ後続4】として40mgを2週に1回、皮下注射する。なお、効果不十分な場合、1回80mgまで増量できる。</p> <p>&lt;腸管型ベーチェット病&gt;</p> <p>通常、成人にはアダリムマブ（遺伝子組換え）【アダリムマブ後続4】として初回に160mgを、初回投与2週間後に80mgを皮下注射する。初回投与4週間後以降は、40mgを2週に1回、皮下注射する。</p> <p>&lt;非感染性の中間部、後部又は汎ぶどう膜炎&gt;</p> <p>通常、成人にはアダリムマブ（遺伝子組換え）【アダリムマブ後続4】として初回に80mgを、初回投与1週間後に40mgを皮下注射する。初回投与3週間後以降は、40mgを2週に1回、皮下注射する。</p> <p>&lt;クローン病&gt;</p> <p>通常、成人にはアダリムマブ（遺伝子組換え）【アダリムマブ後続4】として初回に160mgを、初回投与2週間後に80mgを皮下注射する。なお、効果が減弱した場合には1回80mgに増量できる。</p> <p>&lt;潰瘍性大腸炎&gt;</p> <p>通常、アダリムマブ（遺伝子組換え）【アダリムマブ後続4】として初回に160mgを、初回投与2週間後に80mgを皮下注射する。初回投与4週間後以降は、40mgを2週に1回、皮下注射する。なお、初回投与4週間後以降は、患者の状態に応じて40mgを毎週1回又は80mgを2週に1回、皮下注射することもできる。</p>	
8	399	注射薬	ナソラ皮下注30mgオートインジェクター	30mg0.375mL1キット	113,858	大正製薬	オソラリスマブ（遺伝子組換え）	既存治療で効果不十分な関節リウマチ	通常、成人にはオソラリスマブ（遺伝子組換え）として1回30mgを4週間の間隔で皮下投与する。	剤形追加に係る医薬品（再審査期間中のもの）

- ・内容についての詳細な情報又は正確な情報は、添付文書等をご参照下さい。
- ・薬価に関する情報は「官報」でもご確認下さい。
- ・承認に関する情報は「医薬品医療機器情報提供ホームページ」の新薬の承認に関する情報もご参照下さい。
- ・医薬品薬価マスターに関する情報は「診療報酬情報提供サービス」をご参照下さい。
- ・医薬品コードに関する情報は「薬価基準収載医薬品コード表(MEDIS-DC提供)」をご参照下さい。